

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

6年生を対象に5月27日に実施した全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。

そこから見えた本校の指導の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童への指導の充実や学習状況の改善等に、教職員が一丸となって取り組んでいきます。



国語

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			本校	神奈川県(公立)	全国(公立)	
全体		14	9.4/14問	8.8/14問	9.1/14問	
学習指導 要領の 内容	知識・技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	68	63.8	68.3	
		情報の扱い方に関する事項	0	0	0	
		我が国の言語文化に関する事項	0	0	0	
	思考・判断・表現	話すこと・聞くこと	3	82.3	78.9	77.8
		書くこと	2	64.6	58.3	60.7
		読むこと	3	51.9	48.7	47.2
評価の観点	知識・技能	6	68	63.8	68.3	
	思考・判断・表現	8	66.5	62.5	62.1	
	主体的に学習に取り組む態度	0	0	0	0	
問題形式	選択式	8	73.5	71.6	71.7	
	短答式	3	72.3	64.2	70.6	
	記述式	3	45.1	38.9	40.2	

<知識及び技能>

- 全国平均的な正答率となっている。
- 「思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文書の中で使うこと」、「漢字を文の中で正しく使うこと」についての問題は全国平均を上回っている。スキルタイムで演習の時間を確保したり、漢字を読み方や字形に注意して繰り返し練習したりすることで、言葉の特徴や使い方に対する感覚が身についたと考えられる。
- ▲「文の中における主語と述語、修飾と被修飾との関係を捉えること」についての正答率が低い。主語と述語との関係や修飾と被修飾との関係に気をつけて文を整えることが、自分の思いや考えを正確に伝えるうえで重要であることに気づくことができるように指導していく必要がある。

<思考, 判断, 表現>

- 平均正答率は全国を上回っている。
- 「目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えること」、「目的や意図に応じ、資料を使って話すこと」、「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えること」については全国平均を上回っている。話し方・聞き方についての教室掲示をそろえ、継続して指導してきたことで、定着につながったと考えられる。
- ▲全国平均を上回っているが、目的を意識して、要約することに苦手意識がある。要約する目的を意識して、文章全体から内容の中心となる語や文を選び、要約の分量などを考えて要約することができるように指導していく必要がある。

算数

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			本校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
全体		14	11.4/16問	11.3/16問	11.2/16問
学習指導要領の領域	数と算数	4	62.7	62.2	63.1
	図形	3	55.8	57.3	57.9
	測定	3	75.7	74.7	74.8
	変化と関係	3	78.1	76.6	75.9
	データの活用	5	79.3	77.1	76
評価の観点	知識・技能	9	75	74.4	74.1
	思考・判断・表現	7	66.5	65.1	65.1
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	6	78.8	77.4	76
	短答式	6	76.5	75.4	75.8
	記述式	4	52.2	52.2	53

「知識及び技能」「思考,判断,表現」とともに、平均正答率は全国を上回っている。第5学年時での少人数指導、第6学年時での算数TTで、複数の教師による多面的・多角的な指導により、個人差に個別に応じることができていると考えられる。また、本校では、今年度から算数科について重点研究を行っており、この結果をふまえ、今後も指導を工夫していきたい。

<知識及び技能>

- 平均正答率は全国を上回っている。正答分布のバランスも平均的である。
- 「速さと道のりをもとに、時間を求める式に表す問題」、「データを二次元の表に分類整理する問題」では、全国平均を大きく上回っている。
- ▲商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることに苦手意識がある。
- ▲「三角形の面積の求め方について理解することに課題がある。図形を構成する要素などに着目し、面積の求め方について筋道を立てて説明できるようにする指導を充実させていく必要がある。

<思考,判断,表現>

- 集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができている。
- 示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断する問題の正答率が高い。
- ▲二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方を記述することに課題がある。面積を求めるために必要な情報を図形から選び出す活動などを取り入れる必要がある。